

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成20年9月28日

事業所番号	2772403164	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社 篠原		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム こみち	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	大阪府枚方市招提元町2丁目22-1 (電話)072-855-4181	評価調査日	平成 20 年 9 月 25 日
		評価確定日	平成 20 年 9 月 30 日

【情報提供票より】(平成20年9月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 12 月 1 日
ユニット数	1 ユニット
職員数	人 常勤 9 人 非常勤 9 人 常勤換算 6.6 人

(2) 建物概要

建物の構造	木造造り 1階建ての1階部分
-------	-------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他の経費(月額)	23,000円	
敷金	無(円)			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 250,000円 償却 有			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり	45,000円		

(4) 利用者の概要(9月10日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	0名	要介護2	1名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 87才	最低	81才	最高	94才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 せのう内科 医療法人りんどう会 向山病院・三木歯科
---------	-----------------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

広々とした横長のリビングの左右に個室、その他の部屋があり、ホーム全体が明るい感じで、52インチのテレビが部屋に相応しい。利用者は職員の気付きによる温かい介護のもとに、楽しく毎日を過ごしている。職員は絶えず介護の基本に戻って、利用者支援している。又、ケアの個人記録は3年間続けているので、今後の介護計画に、この記録をより良く役立てようと検討している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	経営理念を具体化して掲示し、その掲示の下で職員は申し送りを実施して意識を喚起している。地域における認知症への広報活動は、地域の関係者のご協力により実施している。又、職員のチーム活動で本人、ご家族、医師の情報を纏めて、介護により良く活かすように検討している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	施設長と管理者で自己評価の各項目を作成し、職員とのカンファレンスで改善も含めて検討し、作成した。昨年度から今年度の春に、管理者の交代、職員3名の退職、入社等があったが、施設長、管理者が、24時間努力してきたので利用者には殆ど影響がなく推移して来ている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	運営推進会議は2ヶ月毎に開催され、地域の自治会長や地域包括センターを始め、出席者各位の提案、検討、指導により、昨年度より更に地域での広報活動や、地域での連帯、交流が進められてきた。ホームでの介護にも種々の提案や検討を頂き、改善を図ることが出来ている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	毎月の支払いにご家族の来訪があり、その際、職員との話し合いがあり、ご要望、苦情等があれば直ちに対応されている。又、運営推進会議にもご家族代表者の出席があり、ご意見を伺っている
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営者は地元の方なので、地域での交流は続けられ、今年は更に自治会の諸行事をはじめ、地域によるフリーマーケットにも参加して出品し、利用者や地元の方々との交流も行われている。その上、日頃から、ご近所の幼児、小学生との交流があり、楽しいひと時を持っている。又、ホームの小農園がすぐ横にあり、果樹や野菜を植えた農地と小さな緑地もあり楽しめる

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地元との交流を積極的に行う理念を掲げている。運営者、施設長は地域との交流に努力している		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送り、引継ぎや定期の職員会議で、理念の実践に向け、検討、話し合いをしながら、取り組んでいる		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営推進会議と、地元自治会長のご尽力を頂き、盆踊り、地藏盆、秋祭り、敬老会、運動会や地区のフリーマーケットなどで、交流をしている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設長と管理者は、職員と話し合いをしながら、評価事業の成果を、ホームの介護支援のレベルアップにつなぐ努力を重ねてきている		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月毎に開催しており、毎回、運営の報告と協議を重ねて来ている。その上、介護の向上について貴重な検討、提案等を頂いている		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のご担当部署への訪問を、適宜行っている		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月の文払いに、ご家族の来訪を頂いているので、その時にご本人の最近の症状等について詳細を説明させて頂いている。ホームでの行事の際に写真を撮影し、来訪時に見ていただき好評を得ている		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時に、ご意見、ご苦情等があれば、すぐ対応して運営の改善を図っている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	職員の研修実績は課題別に把握して全員のレベルが揃うように配慮しているが、欠席者の後日の閲覧も含めチェックできる配慮が欲しい
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		ご家族からの相談には、自宅を訪問したりして、安心感、信頼関係の構築を図り、又、出来るだけ本人の体験入所をすすめている
--	----	----	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		職員と一緒に過ごすことの喜びを話し合ったり、感謝したり、互いの身の上話をしたりして、信頼関係を築いている
--	----	----	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		生活暦から気持ちを汲み取り、感情表現や考えを、言いやすいように工夫している
--	----	----	--	--	---------------------------------------

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	○	個人毎の情報収集はできているが、全職員への周知策と計画作成により良く活用できるように、改善策を検討して欲しい。これにはチームとしての作業となるので、あせらずに長期計画として、全員参加で検討してください
--	----	----	---	---	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的な計画見直し以外でも、変化に気付けば、職員との情報交換から始めており、その後、関係者とも相談し、変更計画を作成している		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人やご家族の状況に応じて、事業所として、適宜、支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	かかりつけの医師への連絡ノートを用意して診察時に提示し、利用してもらっている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族、主治医との話し合いを出来るだけ持って、対処している。職員にもすべての情報を伝え、方針を共有している		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	一人ひとりの尊厳を大切にし、話し掛けにも職員に注意するように繰り返している。記録の扱いも充分注意して保管している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	意欲を引き出し、出来ることには見守りをするなどして、職員は柔軟な対応をしている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューの半分は職員の手づくりなので、好みに応じて対応している。手伝いも可能な限りにもしてもらっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>隔日に無理なく入浴してもらっているが、入浴嫌いの利用者には、用意している理由付けの口説きを行っている</p>

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>利用者各自が、したいことが出来、張り合いのある日々を送っていただけている</p>
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>一人ひとりの希望に沿って戸外に出ることができるよう配慮している。他のデイサービスの利用者もおられる</p>

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>日中の玄関、居室の鍵掛けは行われていない</p>
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>緊急マニュアルを作成し、運営推進会議でも、ご近所の緊急時の応援を依頼している。年1回、消防署員の立会いのもと、避難訓練を実施している</p>

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>食事の摂取量、水分補給量のチェックは出来ている。体調に応じて食事の形態や量を変えて提供している</p>
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>共用室の雰囲気づくりには、利用者も手伝っている。季節に応じた雰囲気づくりが行われている</p>
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>各個室は銘々が、自由に家具道具類を持ち込んで、生活を楽しんでいる</p>